



水保通信
号外
水保まちづくり・広報部
平成26年3月15日発行

ホームページ <http://www.usennet.ne.jp/~mizuho/> メールアドレス mizuho@usennet.ne.jp



節目の季節に臨んで

水保自治会長
今井 薫

今年の冬は雪が多く、3月に入っても雪の舞う寒風吹きすさぶ日々が続きましたが、やっとここに至って暖かくなってまいり、花のつぼみや新芽が息吹き始めてまいりました。
学校では卒園卒業式等、子供たちの希望に満ちた巣立ちの季節でございます。またこの季節は各組織に於いても、人事の刷新等変革の季節でもございます。町の継続的発展の為、自治会組織もまたその例外ではありません。水保町においても、更なるSHINKA(新化、進化、伸化、深化)を遂げる為、新しい風を吹かせましょう。

水保自主防災組織が表彰されました

自治会活動の一環で、町民の安全安心並びに 防災を担う為組織されている、義勇消防団と女性消防団の日頃の活動が評価され、3月9日、湖南消防局より表彰を受けました。これからも災害に強いまちづくりの為、町民の皆様の益々のご協力をお願い申し上げます。



声、こだま 【投書欄】

『慣れほど恐ろしいものはない』

最近の市のニュースを聞いているところでは、環境センターの更新を検討されている様ですが、現在住んで居る水保町の一住民として意見を市に届けて下さい・・・。
ゴミ処理場ができた当初、窓を開ける毎に、何とも言えないゴミの臭いと、大きなハエに、「風の強い時は窓も開けられないね」と神経をとがらせたものです。
その後、焼却施設が出来ましたが、それはそれで、煙がこちらの方に流れるのを見て、「あの中には何が入っているのやろ」と不安に思ったものでした。
昨今は、処理技術は向上しているとは存じますが、その後、人口も増え、その分ゴミの量も多く、質も複雑煩雑化してきています。
目にみえないもの、すぐに症状に現れないものが、含まれて居るのではと云う不安がいつも有ります。気にしている不安にも慣れてしまうと、ついつい忘れがちに成りますが、今回位置の検討もされて居ると云う事から、健康や環境に悪影響を受けるのではないかと、長い期間、風下で耐えてきた水保町の住民としてこの際、他の候補地へ移転していただきますよう強く要望して下さい。

(73才・女性)